



まくべつ

—わたしたちのまち—

(昭和60年3月1日現在)

人口	21,650	(-19)
男	10,646	(-2)
女	11,004	(-17)
世帯数	6,541	(+3)

—人のうごき (2月中)—

転入	43人	転出	75人
出生	26人	死亡	13人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



一足早く春の香り

「この温室は、22年前に造ったもの。花は私のお友達、朝晩話し掛けていますよ」三宅サトさん(77歳・札内中央町)の温室では、鉢植えの木々が花を咲かせています。

もう春はそこまでやって来ています。

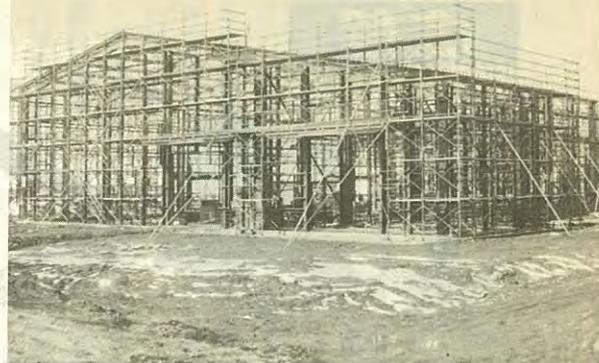
60年 **4**

No. 399

60年度予算決まる

春らしい躍動が街を包んでいる4月です。町づくりも、新年度予算を基に動き出しました。60年度予算の規模は、昨年と比べ13億円多い、112億7千万円(全会計)です。

3月12日から、定例第1回町議会が開かれました。林町長、黒川教育委員長は、どんな「幕別の1年間」を描いているのでしょうか。町づくりにかける意気込みを紹介します。



6月完成を目指し工事が進むホクレン農産食品加工場

駒畠小を二億円で改築

一般会計

6.1%増の73億円

基金2億9千万円を

取り崩し

方負担が増加する極めて厳しい内容になっています。

本町の財政状況は、五十九年度

末で財政力指数三二・二%、経常

収支率七九%、地方債制限比率一

五・二%と見込まれます。財政運

営の弾力性は低下しつつあります。

効率的な事務推進体制の確立、オ

フィーストトメーション機器の導

入による事務処理について検討を

加え、経常経費の節減を図ってま

いります。

一般会計は、七十三億四千三百

五十二万四千円(前年度当初に比

べ六・一%増)です。事業量を確

保するため、財政調整基金二億円、



施政方針を述べる林町長

町団地に宅地造成事業を進めていきます。十月には七十二区画の宅地が分譲されることとなります。

下水道事業 環境浄化を目指す

幕別・札内市街地区の下水道事業が進ちよく中です。幕別地区は、鉄北地区の全域と鉄南地区の一部が、昨年から供用開始となり四百五十一戸が水洗化されました。六十年

度は、鉄南地区の配管工事や処理場の充実を図ります。水洗化改造資金融資制度の継続により、新規二百戸を目標に水洗化の普及に努めます。公共施設では幕別小・中学校など五施設、公営住宅六十七戸の水洗化を行います。

札内地区の下水道事業ですが、国道拡幅工事に合わせて汚水圧送管の敷設延長、汚水幹線工事に着手します。また、ポンプ場用地の買収を予定しており、六十四年供用開始に向けて努力してまいります。

水道事業 札内北地区への配水管の敷設延長を行い、将来に向かっての給水戸数の増加を図ります。日新、相川地区の配水管敷設替え工事を進めます。

区画整備事業

都市計画街路のほか区画街路事業の整備促進を図ります。国道拡幅関連事業にも積極的に取り組みます。

公園

明野ヶ丘公園は、補助抑制の影響で事業が延び悩んでいます。駐車場、園路の整備を行い、広く町民に活用されるよう努力しま

相川南地区に

近隣センター建設

道路整備 一般道路・街路・農

道を含め改良二十五本、舗装二十

五本の工事を行います。工事総延

長は二十八・七キロメートル。六十年

事業完了時点では改良率四一・三

%、舗装率二一・二%になります。

住宅 新緑町に一棟六戸の公営

住宅を建設します。公営住宅の需

要が近年減少しており、今後の課

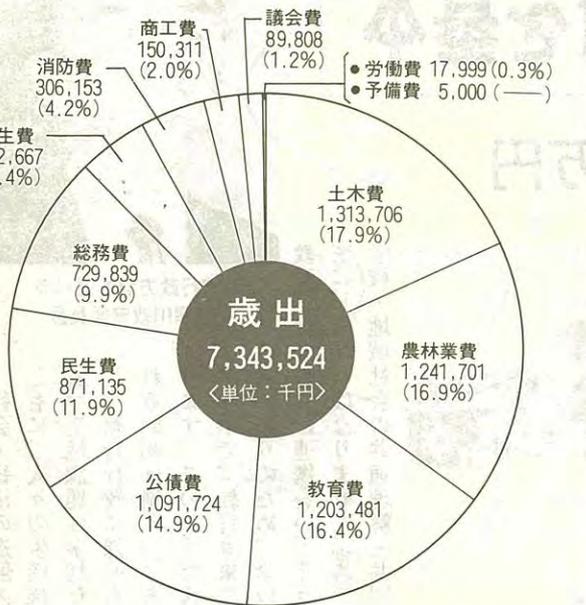
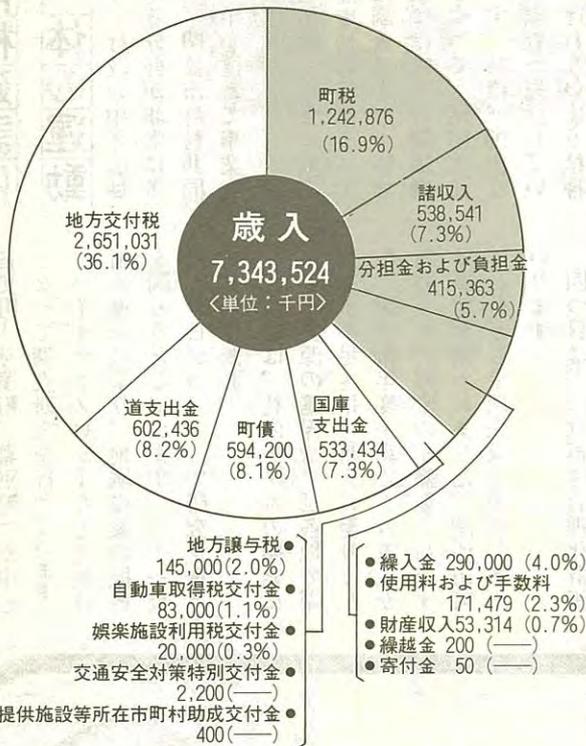
題として老朽住宅の建て替えを検

討中です。

公社事業として、昨年からは新緑

一般会計予算の構成

自主財源 (36.9%)
 依存財源 (63.1%)



す。
 林内地区農村公園事業に着手します。地域住民の憩いの場になるものと期待しています。
交通安全・防災・防犯 札内東中学校、江陵高校の開校に伴い、札内旧国道に防護さくの設定、温泉南通り、札内高台線に防犯灯を設置します。全町的にも街路防犯灯の設置を進めます。
 吐月橋から札内あかしや団地まで歩道の整備を行います。
 消防車の更新、防火水槽、消火栓の設置を消防事務組合の事業として進めます。
近隣センターの建設 相川南地区に建設します。今後は、市街地域の人口増大に対処する、多目的



今年舗装される札内7号団地道路2号

に利用できる拠点施設の建設を考えています。
自然環境の保全 住みよい町づくりに緑は欠かせません。自然を調節する機能としても大切です。
 町有林の造成をはじめ、公園事業

農業基盤整備

の中に積極的に緑を取り入れられます。郷土の自然を愛し、育てる気運を盛り上げてまいります。

企業誘致を促進

農業の振興 生産性の高い農業を育てる、生産基盤の整備を実施してまいります。既に国営、道営、団体営が完了している事業は約八十二億円、進行中のものは約四百億円です。
 六十年度は、三十一億三千万円の事業が行われます。
 昨年立地が決定したホクレン農産食品加工場は、六月完成を目指して、工事が進められています。今

医療費助成制度は当面継続

秋には、スイートコーン缶詰の製造を開始します。
 また、北海道農材工業の素焼き土管工場も、九月操業を目指して工事を進めています。二つの工場進出は、勤労者の雇用拡大につながり、大変喜ばしいことです。
雇用の促進を図るため、企業を中心とする雇用対策話会設置の呼び掛けを行い、定例的に協議を持ちたいと考えています。
商工業の振興 企業の誘致や市場産業の振興によって、地域を活性化することが望まれます。
 まず、公社事業として稲志別工業団地の取得造成を行い、企業の集約化を図ります。新規企業の誘致に全力で取り組み、奨励制度を

検討しています。
 地場産業を振興させる特産品の開発は、民間によるユニークな発想から生まれつつあります。特産品開発推進協議会の研究の輪も広がっています。大きな期待を寄せています。
 当然のことながら物品、工事の発注は町内優先の姿勢です。商工会ともども愛町購買運動を盛り上げてまいります。

福祉・医療 人口の老齢化が加速度を増しています。推計による高齢人口は、昭和六十年に一〇・一％であるものが七十五年には一五・六％、九十五年には二一・八％に達すると予測されます。
 町が独自で行っている老人医療費、各種の助成制度は当面継続してまいります。
民生委員活動、ボランティア活動に期待をし、各種の相談活動を展開します。
保健予防 保健婦を一人増員して、保健活動を強化いたします。
老人福祉 お年寄りの生きがいと健康の保持、就労の機会を確保する、高齢者就労センターの活動を促進します。
児童福祉 保育所のほか、町独自の肢体不自由児訓練施設、言語教室などの活動に万全を期します。
 (次のページに続く)

第二札内橋建設に

官民一体の運動

広域事業 今、行政の中で広域的に仕事を進める分野が非常に多くなっています。関係市町村共同の利益のため、手を携えて事業を促進してまいります。

一つは、高度情報化社会に対応するI・N・S（高度情報通信システム）の活用、研究調査です。十勝地区がモデル地域に指定され関係機関団体が一体となって、活用方法を検討しています。酪農、畑作など農業への導入調査が先行していますが、時代に遅れないよう積極的に取り組みます。

二つ目は、第二札内橋の架橋促進と広域街路網の整備です。町も重点的に運動を進めています。民間団体である町架橋促進期成会が、東部四町を含んだ幅広い期成会結成を呼び掛けています。心強く感じています。

中核都市圏構想は、国の開発計



第二札内橋の架橋予定地から帯広を望む(依田)

画の一環として一市三町(帯広市、音更町、芽室町、幕別町)が中心となって調査研究を行っています。バイオテクノロジーなど先端技術の導入により、地域産業の振興を図ろうとしています。二十一世紀へのビジョンとして研究を進めてまいります。

三つ目は、札内川ダムの開発による水資源の確保です。各地で深刻な水不足を招く時代に至りました。国の新年度予算でダム着工が認められ、将来の水需要に対処する展望が開かれました。関係市町村ともども早期完成を要望してまいります。

四つ目は、国鉄再建合理化計画による広尾線廃止への対応です。昨年六月、第二次廃止対象路線として承認され、関係町村一丸となって反対運動を続けてきました。この間、反対の意志を公式に表明することが得策との判断から、地方線対策協議会の開催に同意しました。しかし国鉄は、協議会は路線の廃止、代替え輸送機関の検討をする場との姿勢です。情勢は厳しいですが存続に努力いたします。

こうした諸事業の遂行は私に課せられた使命と痛感しております。しかも、町民の皆さんの温かいご支援があれば実現不可能でございます。お力添えをいただきながら、全力を奮って取り組む覚悟でございます。

人づくりと生涯教育を基本

教育予算は12億348万円



教育行政方針を述べる
黒川教育委員長

社会・経済の進展とともに、人々の生活様式や生活課題は多様化し、教育行政に課せられる問題は増えつつあります。このような状況の中で、教育本来の人づくりのため、学校・社会教育の連携をいっそう密にしなければなりません。家庭・学校・地域社会の共通理解と共同



現在地に改築される駒島小学校

責任の認識を深めていくことが特に必要なことです。新年度は、制定後十年が経過する教育目標の改正を、六十一年度に向けて作業を進めます。人づくりと生涯教育を基本に、今日的課題に対応し、地域・父母に

こたえる教育の振興に努めてまいります。

学校教育 昨年度に引き続き、札内東中学校建設事業のうち、屋体の新築工事を二億二千九百三十九万八千円で実施いたします。また、駒島小学校の建設事業は、現在地に四学級規模の校舎と屋体を新築します。併せて地域に開放される学校にするため、グラウンドの拡張造成を含め、三億三百九十三万三千元で年内完成を予定しています。教職員住宅は、札内青葉町に一棟六戸を建設し、住宅不足の解消に努めます。

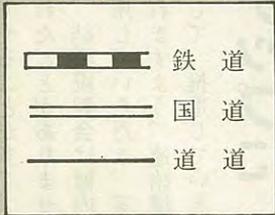
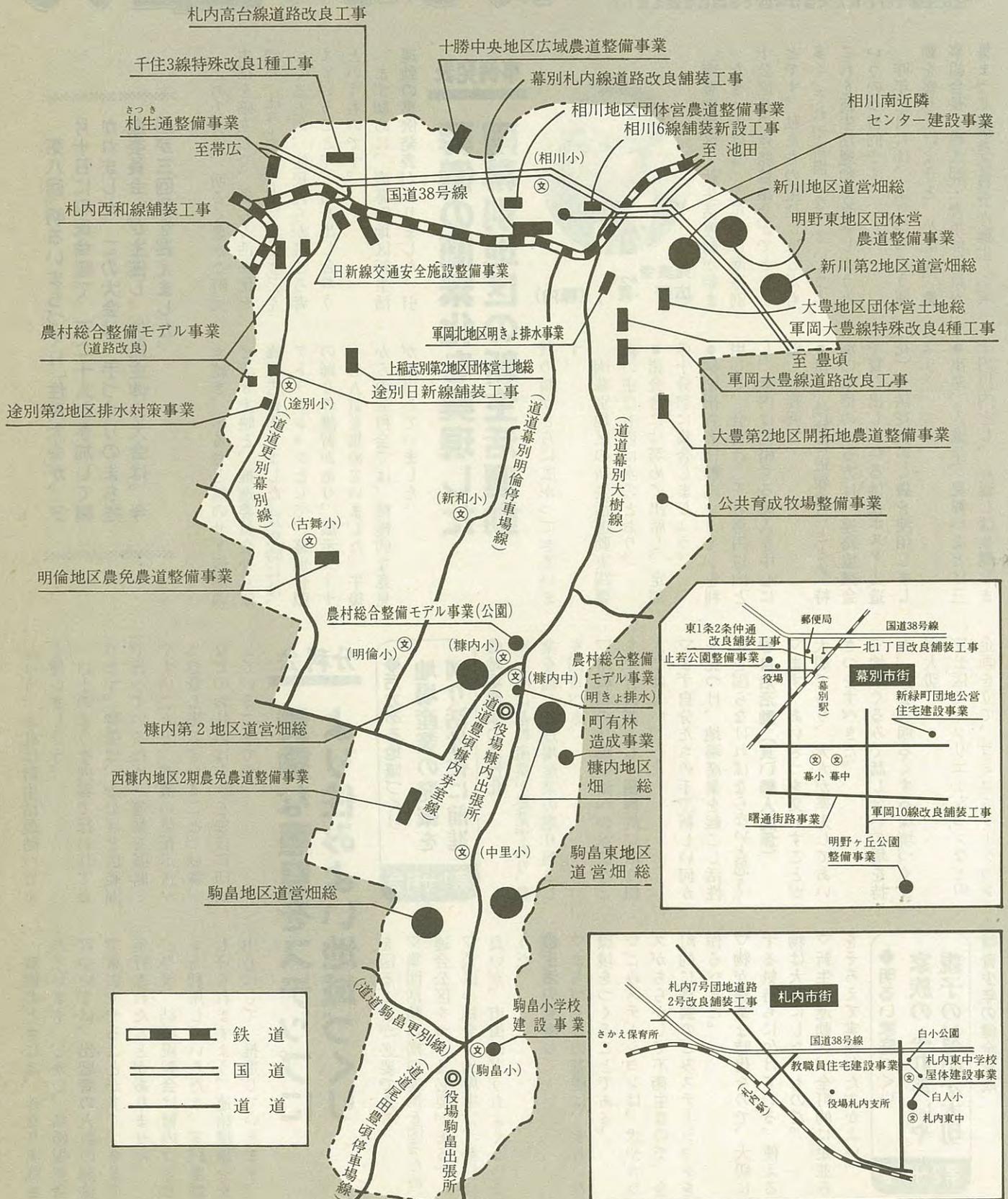
社会教育 家庭教育学級は八学級、婦人学級は三学級であります。が、それぞれ一学級を増やします。七年目を迎えた高齢者学級「しらかば大学」は、従来どおり高齢化社会に対応した内容で続けます。

文化の振興 NHKの「ふれあい広場」の中で、文化講演を開催することにしております。また、札幌交響楽団演奏会、巡回小劇場などを、文化の振興を図ります。

社会教育 昨年から取り入れた新しいスポーツ「グラウンド・ゴルフ」の普及に努めます。また、農業者トレーニングセンターを中心に、身近にスポーツを楽しむグループや団体を育成します。冬期間の健康、体力づくりのため、新しいスポーツの導入を図ります。

ことし行われる主な事業

町づくり地図



始めてみませんが あなたの公区でも



住民主体で行われた大会は今回で3回目を迎えました

第八回「明るいまちづくり」住民大会が、三月十日に町民会館で、百二十人が参加して開かれました。この大会は「手づくりのまち推進委員会」が主催し、住民主体の大会は、今回が三回目を迎えました。

この大会は、明るく豊かな町民生活を確立して、まちの活性化を図り「住みよい活力のあるまち」をつくるため、住民自らが日ごろ考えていることや、力を出し合おうというものです。

まず初めに、南幕別地区新生活運動の事例発表がありました。引

事例発表 葬儀の簡素化を実現した 南幕別地区の新生活運動



発表者 北内 木内 寛 (様内) 発広野 かつぐん

南幕別地区で新生活運動が始まったきっかけは、四年前に南幕別十公区長の連絡協議会ができたことです。私たちの生活にはむだも多く、それが習慣になっていきます。これを新生活運動で改善しようというのが目的です。

昨年三月には、よりいっそう運動を盛り上げようと、公区長、農事組合長、婦人部、青年部役員が集まって、推進委員会が誕生し、実

き続き、ふるさと館のサケ産卵のビデオ上映と、推進委員会から研修報告がありました。昼食時には、アトラクションとして、幕別音頭の踊りの講習があり、展示コーナーも人気を集めていました。午後からの分科会では、積極的な意見が続出していきました。

践の輪がさらに広がってきています。

南幕別地区の新生活運動実践要綱の主なものは次のとおり。

- 諸会合には努めて出席し、定刻の十分前に集合しましょう。
- 結婚祝賀会は糠内コミセンを利用し、会費は二千五百円以内とし、案内は結婚する両人を中心に親しい範囲で。
- 供花、供物は近親者にとどめ、特別の事情のある方は、連絡協議会で貸し出している供花ポスター(造花)や供花料のし袋を使用しましょう。
- 出産、入進学、見舞いなどは三千円以内とし、お返しは全廃しましょう。

しよう。お礼は新生活運動ハガキを使いましょう。

以上のような内容で行われております。特徴は、十公区と広範囲で行っているため、運動を展開しやすいことと、葬儀の供花ポスターを貸し出していること。見舞いなどのお礼のはがきを独自に印刷していることです。

分科会 貴重な意見をステップに より住みよい地域づくり

◆活力ある地域づくり 地場産業の発掘を 図り活性化に前進 第1分科会

①地場産業の活性化
▽本町は基幹産業が農業であり、農業を通して地場産業の掘り起こしを図るべき。

▽町職員の技術研修への派遣などを、行政側として積極的に取り組んでほしい。

▽まず自分たちの手で新しい何かを見つけ、地場産業を起こし活性化を図らなければならぬと思う。

②自治活動(良い隣人関係)
▽まず、あいさつを交わすことが大切であり、大人が率先してあいさつをすべきだ。

▽地域ぐるみで話し合いの場を持ち、社会を明るくする環境づくりが大切。

▽公区でレクリエーションなどの企画を立て、コミュニケーション

葬儀のときには、かなり実践されています。しかし、結婚祝賀会については、出席者の人数の関係で帯広でやるものが多く、今まで実行されたことがありません。

今後、結婚祝賀会は糠内コミセンを利用していただき、実践要綱も守られますよう、連絡協議会を中心に、推進してまいります。

を図ることが必要である。

▽集団活動に横の連携を図るため、連合公区をつくる必要がある。

▽公区の総会の出席率は、農村は良いが、市街はどうもよくないようだ。

③生活の見直し

▽まちづくりの基礎は、きれいな環境をつくることである。

▽ごみステーションは、犬やカラスがちらかして不衛生なので、全町の鉄製のごみステーションを作るべきだ。

▽物が豊富な時代なので、大切に持つ気持ちに欠けている。使える物は大事にしたいものだ。

▽新生活運動は、全町の足並みをそろえて実施した方がよい。

◆明るい家庭づくり 家族のふれあいや 親子の対話が大切

第2分科会

①青少年の健全育成



松山寿子さん
（22歳）
（南町73）
▼帯広信用金庫札内支店 ▲
後輩の指導にがんばります

この春で信金に勤めて4年がたちました。ウィルドマシーンという機械を操作しながら、貯金の窓口を担当しています。5月から女子行員のいちばん上になるので、後輩の指導にがんばろうと思います。趣味は、ポピュラーやニューミュージックの音楽鑑賞で、休日は街に買い物へ行くことが多いですね。3月に、母校の駒中が閉校したので寂しいです。

こんにちは ①

★ 本年で八回目の「明るいまちづくり」住民大会では、このように多くの意見・発表が出されました。このことは、私たちが直面している地域課題であり、一人ひとりにとって決して無関係なことではありません。今後は、この貴重な意見を意見だけに終わらせることなく、各地域がよりよい「まちづくり」のために、住民運動などの活動へ展開させていくことが大切であると思われれます。

▽行政と住民が一体になって運動を起していくことも大切。



積極的な意見が続出した分科会

づくりを調整・推進する住民組織をつくる必要があるのでは。▽花作りを通じて、住みよい地域づくりをしてはどうか。心の交流が、良い地域社会に結びつく。

◆住みよい環境づくり 歩道に植樹ますを 使って花壇作りを 第3分科会

①緑と花いっぱい運動

▽歩道に植樹ますを使って、花壇作りを進めてはどうか。

▽花壇を作りたいが、花の苗が高く、経費の負担が大きい。どこかで、まとめて苗を作り、提供してくれるシステムがあると助かるのだが。

▽町花、町木の制定を進め、各家庭に配布し、町を包むようにしてはどうか。

▽猿別川の提防の両側に、桜の木を植えたらどうか。

▽花作りを研究したり、緑のまち

▽子供を少なく生んで大事に育てるあまり、甘やかが多い。小さい時の厳しいしつけが必要である。▽学歴社会に疑問を持ちながらも、親が子供の知的発達だけを望んでいないか。今、いちばん求められていることは、心の豊かさである。▽家族のふれあいや会話が少ない。特に親子の会話が大切である。▽親が子供の姿をいちばん知らないのではないか。子供を眺めるのではなく、見つめることが大切である。

▽子供の健全育成は、家庭、学校地域の連携が大事である。特に、地域の中で育てる取り組みが遅れている。公区活動の柱として取り上げていく必要がある。

▽非行に対処するため、親向けの

地場産品を使った



ポテトタイム揚げ

【材料】 4人分

じゃがいも：800g 片
粟粉 溶き卵 塩 砂糖 ジ
ヤム ラム酒

①バター：40g、卵：2個、塩：少々、小麦粉：100g、生パン粉：25g ②あんず缶詰：150g、ジャム：50g、ラム酒：少々
③パン粉：1杯と4カップ、バター：適宜

【作り方】

①じゃがいもをゆでて、裏ごしにします。②①のバターと卵、塩を手早く①に混ぜ、小麦粉とパン粉を加えて十分にこねます。ぬれぶきを掛け二時間寝かせます。③②のあんずは小さく刻み、汁を切つ



ちに④をまぶします。⑧ジャムを適量水で伸ばし、ラム酒、調味料を入れてシロップにします。

◇ 今回から、第四回婦人まつりで行われた「料理コンテスト」の入選作品の作り方を紹介します。

◇ ごししたものを熱いうちにバターと混ぜ合わせる。缶詰は、ほかの果物を使ってもいいです。シロップを作って掛けると、よりおいしく食べられますよ。

出品者

緑町第3公区婦人部

高橋かず子さん(45)

この料理のポイント、裏

七組の新婚あつあつカップルが集う



○…農業後継新婚者の集いが3月5日、幕別温泉ホテルで開かれました。出席した7組の新婚さんは、農業にかける夢などを、和やかな雰囲気の中で語り合っていました。

○…町婦人団体連絡協議会(高橋ユキ会長)主催の第四回婦人まつりが三月三日、町民会館で行われました。今回は「食生活の見直し」がテーマで、特に手づくり料理コンテストは、八十八点の出品があり、ユニークな作品が多く、来場者も興味深そうに見入っていました。



料理コンテストが人気のマト



○…明野工業団地に進出する、北海道農材工業株式会社(出蔵勇社長、本社・札幌市)の暗きょ排水土管製造工場の地鎮祭が3月11日、関係者約40人が出席して、建設予定地で行われました。同工場は7月末までに完成し、年間約500万本の排水土管の生産を予定しています。



素焼き土管工場の地鎮祭

少年飛行隊、華麗なジャンプ披露

○…第七回全町ジュニアノルディックスキー記録会と第三回十勝スキージャンプ選手権大会が三月十七日、五十二人が参加して幕別温泉ジャンプエなどで開かれました。この大会は、札内スキー少年団(太田政弘会長)の創立十周年記念大会で、選手たちは父母らの声援を受け、熱戦を繰り広げました。



ぼくら
の
学校



としがず
村田 寿一君
(6年生)



- ◆新和小学校
- ◆及川照巳校長
- ◆児童数―七人

自然がいっぱい

なわとびで体力づくり

ぼくたちの学校は、幕別市街から約十四キロメートル離れた高台にある新和小学校です。校舎の周りには、白かばがたくさん生えています。冬は、雪が五十センチメートルぐらいつもるときがあります。春になると、ことりやちようちよが飛び回り、花もさいて緑がいっぱいです。

ぼくたちの学校は、男子六人、女子一人です。先生は四人いて、学級は三学級あります。

児童会は、三年生以上で厚生委員会と生活委員会に分かれています。一人ひとり役をもっています。忘れられたら教えてあげたりして、助け合っていてやっています。クラブも三年生以上で、バドミントンをやっています。

この学校の特ちょうは、体力



体力づくりに週3回なわとびをやっています

になっていきます。これからも、新和小学校の特ちょうをいかし、みんなと仲良くし、勉強や他のことにもがんばりたいです。

★ みんなの声



約束しまあ～す。交通安全

願いは一つ 交通事故ゼロ

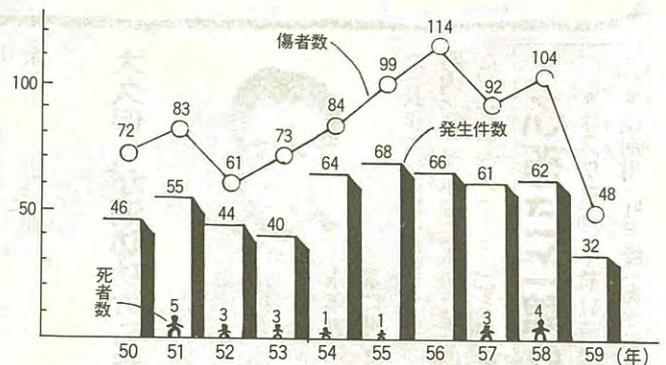
毎日、新聞やテレビなどで交通事故のニュースが伝えられます。私も交通事故で夫を亡くしました。注意深い人でした。交通事故などはおよそ無縁なものと思われていた夫が突然、アツという間に帰らぬ人となつ

てしまいました。二度とやさしい笑顔を見せてはくれませんでした。あれから十六年が過ぎました。わが子の成長のみを心の支に生きてきました。私たちのような悲しい家庭が、少しでもなくなるよう交通事故絶滅を願ってやみません。
■お答えします
 「わたしも交通安全運動」へ参加
 ご主人が亡くなってから、大変

(投書)
 町に対するご意見や質問などがありましたら、お寄せください。出来事や体験などでも結構です。
 投書には住所・氏名をお忘れなく。匿名ですと返答をお伝えするにも連絡のしようがなくて困ります。広報紙に掲載するときには、匿名希望とお書き添えいただければよいにしますし、秘密は守ります。
■あて先……本町130番地
 総務部企画財政課広報広聴係

な苦勞をされたと思います。交通事故ゼロを願う心は一つです。
 町も悲惨な交通事故を無くするため全力を挙げてがんばっています。

町内の交通事故発生状況 (過去10年間)



昨年、町内で発生した交通事故は三十二件でした。ケガをした人が四十八人。亡くなった人はいません。発生件数、死者、傷者とも前年に比べ大きく減少しました。特に交通事故ゼロの日が四百二十六日間続きました。(五十八年十一月十八日から六十年一月十五日まで)

ードを行い啓発を続けています。このように、町民一人ひとりの交通安全意識を盛り上げる運動に力を入れています。

「交通安全は家庭から」を運動の柱として取り組んでいます。
 幼児期から交通社会への適応力を身につけ、将来良き交通社会人となつていただくよう幼児交通安全教室の開設。道路の歩き方「信号機の見方」など集合訓練を通じて、お母さんと一緒に安全教育を進めています。また、子供たちの登下校時には十八人の交通指導員が街頭指導に当たっています。
 夏の交通安全運動期中に、町交通安全協会と札内交通安全実践会が中心となって、事故防止パレ

四月六日から春の交通安全運動が始まります。広く町民が自発的に参加する「わたしも交通安全運動」へと体験を通じて安全意識の高まりを図ります。昨年十月に町が行ったシートベルト着用調査結果は、運転席四三%、助手席三八%でした。本年は、「シートベルトの着用」を重点に地域や職域における着用運動を推進します。安全速度を守る、早め点灯運動も通年運動として積極的に展開いたします。心一つにして交通事故を無くしましょう。
(交通安全係)

新町民登場



東 フミさん (61歳)
 札内桂町558

温泉もあるし いい環境ですね

私は生まれも育ちも根室で六十年間ずっと暮らして来ました。夫が五十八年に亡くなり、昨年の十一月に、娘の住んでいる幕別へ来ました。

根室では、十五歳の時から三十七年間、床屋をしていたんです。初めは勤めていたんですが、そのあと独立して、息子と娘の三人で七年ほどやりました。

根室はやはり漁業の町で、幕別の野菜が新鮮であるように、花咲がに、サケ、サンマなどがおいしかったですね。

幕別は空気がいいし、温泉もあるし、とても環境のいい所だと思えますよ。娘が新北町に住んでいるので、よく遊びに来てくれます。ふだんは温泉へ行ったり、テレビを見て、のんびり暮らしています。

駒島中 38年間の歴史に幕 別れ惜しみ閉校式

糠内中学校への統合により、三月いっぱい閉校になった駒島中学校の閉校式が三月十四日、同校体育館で三百二十人が出席して行われました。

閉校式には、地区住民、同窓生、歴代教職員などが駆けつけ、最後の別れを惜しんでいました。校歌斉唱のあと、林町長が「三十八年間、地域の様々な活動を生み出す

拠点として、守り育てていただいた地域の皆さんの情熱は、今後地域の発展に大きな力となることと信じております」と式辞を述べました。功労者、歴代校長らに町と同校閉校協賛会（高橋勇会長）から感謝状が贈られ、続いて、来賓と和昭三校長のあいさつがありました。最後に、生徒代表の石井かおりさんが「小さな学校でした



生徒全員に町から閉校記念品が贈られました

とともに、三十八年の歴史に幕を閉じました。

無火災記録が500日突破 消防署札内出張所管轄で

札内地域の無火災記録が五百日を突破しました。五十八年十月十日に火災が発生して以来、三月二十日現在で、五百二十七日まで伸びています。昨年の町内の火災は五件で、札内地域では一件も発生していません。町消防署札内出張所の管轄区域は、札内市街と古舞、途別などの農村地域で、世帯数では三千八百七十戸余りと、全町の約六割をカバーしています。

- 町へ……
- ▽太平洋建設工業労働組合から札内さかえ保育所へひな人形セツト一式
- ▽大谷静子さん(札内あかしや町)から十勝愛育園へ五万円
- 町社会福祉協議会へ……
- ▽近石カネさん(寿町)から二十万円
- ▽島倉良夫さん(糠内)から三万円
- ▽森トミエさん(帯広市)から五万円
- ▽幕別町歌謡連合会、南町カラオケ同好会から二十五万三千五百八十四円
- ▽町技能士会から二万三千二百二十八円
- ▽匿名の方から千円
- 老人クラブへ……
- ▽松井ツネさん(寿町)から老人クラブ連合会へ三万円
- ▽一条豊さん(弘和)から駒島老人クラブへ三万円
- 駒島老人クラブゲートボール部会へ二万円
- ▽岡田定さん(緑町)から緑町老人クラブへ一万五千元
- ▽吉田孝さん(旭町)から旭町老人クラブへ三万円
- その他……
- ▽幕別町歌謡連合会、南町カラオケ同好会から道献眼運動推進協議会十勝支部へ五万円
- ▽町料飲店組合からボランティアセンターへ二万円
- ▽一町民から町交通安全全協会へ千円

ひと

住民組織の手づくりのまち推進委員会会長
高橋 次郎さん
(緑町18・59歳)

地域づくりは住民自らの手で

地域づくりを目指す、第八回明るいまちづくり住民大会が三月十日、町民会館で開かれました。この大会は、住民組織である「手づくりのまち推進委員会」が主催しています。大会の企画から運営に、

高橋会長ほか四十六人の推進委員が当たりました。

「第五回大会までは教育委員会の主催でした。第六回大会から手づくりのまち推進委員会が主体となっています。住民の手による大会は三回目になりました」

推進委員会は、地域に住

む人々が幸せになるため住民自らが明るく、豊かで、住みよい地域をつくる住民運動を推進することをねらいとしています。

それぞれの地域で、資源回収や新生活運動など特色ある活動が見られます。住民大会はこれらの取り組み内容を紹介したり、地域の身近な問題を話し合う場です。その中から自分の地域でできることを取り上げ、実践してほしいものです。住民運動は長い目で見ていかなければならないと思います。今後は、公区間の連絡会議づくりを進めたいと考えています」

大正十四年十月に古舞で生まれる。幕別農協修理センター工場長。母親、ユキ夫人の三人暮らし。



大久保さんが消防功労者表彰

大久保正司さん(幕別消防団長)が、消防庁の永年勤続功労章に輝きました。長年の消防団活動が認められ、町内での受章は三人目になりました。受章おめでとうございます。

ふるさと館のサケ放流

●4月7日(日)午前11時から
●途別川・吐月橋(あかしや処理場横)

日曜日です。家族連れでおいでください。